

656
18.7.11

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)/〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号/TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268/発行責任者=石田精三
編集責任者=韓秀根

大阪教組教研分科会

10月13日(土)

大阪市立美津島中学校で開催

働きやすい職場環境を求めて 2018夏季教育長交渉

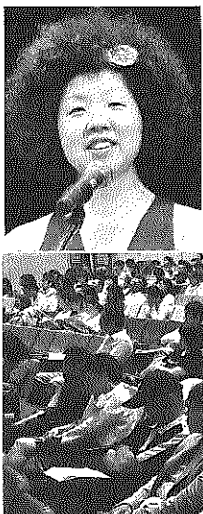
大阪教組は7月3日、勤務労働条件の改善に向け、酒井教育長をはじめとする府教育庁と夏季交渉を行った。冒頭、石田中央執行委員長は、多忙化解消の一点に絞り「政府は、今月中に新たな過労死防止大綱を閣議決定する方針だが、今の働き方で定年まで働き続けられるとは思えない。働きやすい職場環境づくりの実現にむけ前向きな回答を」とあいさつした。教職員の

働き方改革にむけた支援策や母性保障など勤務労働条件を中心に、ますます多忙化する厳しい職場状況を述べ早期の改善を求めた。

再質問・再回答を含む主な回答は以下の通り(◆要
求 ○回答 ●再回答)。

◆臨時主事の初任給
○任用状況をふまえて、研究。○前向きに鋭意研究。
◆会計年度任用職員制度
○十分な協議期間の確保、出来るだけ早期に協議。

◆労働時間の適正な把握
○あらゆる機会を通して働



「なくなった」ことで逆に隠れていたものに気づいた」と語る稲垣さん(写真上)と話に聴き入る参加者

本当の「豊かさ」とは、何か。価値観の 転換で、自分なりの豊かな生活を。

大阪教組教研全体集会

大阪教組は6月30日、エル・おおさか教研全体会を開催し、約500人が参加した。稲垣えみ子さんが「私の『セルフ革命』」成長しない時代をハッピーに生き抜く」のテーマで講演。価値観を見直すことにより、人生の行き詰まりを打破した稲垣さんから、「本当の豊かさ」について考えさせられた。

開会冒頭、石田中央執行委員長は、「大阪府北部を震源とする地震で亡くなった方々に哀悼の意を表し、被災された方々にお見舞いを申し上げます。学校が子どもたちの命を第一に考え、

守る場となるようとりくみましよう」とあいさつした。また、「特別の教科 道徳」の中学校教科書採択に関わっては、「自己評価などによって、特定の道徳観、価値観を押し付けてはいけな」と述べ、「子どもたちの多様性を尊重し、違いを豊かさとする」とは、まさにインクルージョンの理念」と語った。

続けて連合大阪の黒田副事務局長が、「政府が今国会を『働き方改革国会』と名を打っている。そうであるなら、働く者、生活者の切実な声に耳をきたむけよう」とし、姿勢は厳しく問わなければならぬ」と来賓を代表してあいさつをした。基調提案を久壽里教研部

長が行い、「地域の実態、子どもたちの実態を基盤とした適切な学びを保障し、平和・人権・環境・共生の実践を構築していこう」とアピールした。

今年の全体会は稲垣えみ子さんを招き、「私の『セルフ革命』」成長しない時代をハッピーに生き抜く」のテーマでお話いただいた。

稲垣さんは、人生に行き詰まり「豊かさ」について見詰め直した。「豊かさ」というと、人より多くのものを持っている、人よりもいいステータスにいたい、ということと考えられている。そして、学校教育は、意図せずその価値観をつくり出すことになっているのではないかと、と話す。

上り坂の価値観は、少しでも上をめざし、それによって満足をするというものは、ものごとを失っていくということ、悲しいこと

本日の「豊かさ」とは？
稲垣さんは、人生に行き詰まり「豊かさ」について見詰め直した。「豊かさ」というと、人より多くのものを持っている、人よりもいいステータスにいたい、ということと考えられている。そして、学校教育は、意図せずその価値観をつくり出すことになっているのではないかと、と話す。

上り坂の価値観は、少しでも上をめざし、それによって満足をするというものは、ものごとを失っていくということ、悲しいこと

きかける。

◆教員と事務職員等の標準職務
○文科省のモデル案が示されれば、府として検討。その際には協議を行う。

◆36協定
○府立学校と同様の措置がとられるよう働きかける。

◆留守番電話、学校閉庁日
○府立学校と同様の措置がとられるよう働きかける。

◆閉庁日等に関する、教職員の理解を得ながら、適切に運用されるよう指導。

◆運動部活動
○府立学校を対象とする「大阪府運動部活動の在り方に関する方針」を策定中。

となのだろうか、みじめなことなのだろうか。稲垣さんのセルフ革命は、「失ったものを手に入れ、稲垣さんといく」ことに向き合うことから始まった。

稲垣さんの生活
現在の稲垣さんの家は、ガスが通っていない。また、電化製品もほとんどない。だが、その生活からは楽しさを感じている。稲垣さんの暮らしを聞くと、便利なのも暮らしを楽にしているかという点、必ずしもそうではないことがわかる。私たちが日頃、「これがいい」と暮らしているのは、本当に思っているものは、本当にない生活できないものなのだろうか。テレビをやめた話、とても印象的だった。「今まで、時間がなくて、時間があつたが、実はテレビに時間を吸いとられていたことに気がついた」と、稲垣さんは話す。何かをやめるといことは、ネガティブにとらえられがちだが、「なくなった」ことで逆に

準備ができたい送付予定。◆中学校デリバリー給食に対する加配、栄養教職員の負担軽減を。

◆栄養教職員の定数改善については、引き続き国に要望。○デリバリー加配について、国に対して要望。

◆セクハラ・パワハラ指針の周知と実態把握を。

◆改めて認識を持てるよう努める。

◆妊娠中の養護教諭等に対する職務の軽減を行うこと。○整理して改めて回答。

◆妊娠中の養護教諭に職務軽減など改善策を。

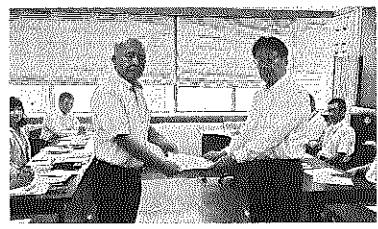
○現状では困難。

○整理して改めて回答。

隠れていたものに気づくことができるのだ。このことをきっかけに、稲垣さんは、いかに家電製品を手放し始める。

本当に必要なもの
ついに冷蔵庫を手放した稲垣さんが気づいたこと、それは「人が生きていくのに必要なものって、こんなに少しいい」ということ。便利なものに囲まれている暮らしを「スバゲイ症候群」に例え、「便利なもの」に例え、「便利なもの」を奪われていく。その「管」をひとつずつ外していく作業が、稲垣さんのセルフ革命だ。自分の住んでいる街を「我が家」と言う稲垣さんには、たくさんの人との出会いとつながりがあつた。みんながよく育ち、自分もよくなる。稲垣さんがこの暮らしを楽しめる理由は、そこにもあるのだと感じた。

チャレンジできるいい時代
昔に比べると、絶対的に



酒井教育長に要求書を手交する石田中央執行委員長(左)

大阪教組は、7月9日開催の中央委員会にて「府労連連闘争委員会見解」を確認するとともに、残された課題の早期解決に向け、とりくみを継続する。主な回答は以下のとおり。

①労使慣行の厳守「府労連との、これまでの良き労使関係については、今後とも、

18府労連夏季闘争
前進行動を得る

18府労連夏季闘争は、7月2日総務部長との最終団交に臨み、今季の最終回答を得た。

総務部長は労使慣行についての認識を示すとともに、府労連の最重要課題である人事委員会勧告のとり扱いについて「労働基本権制約の代償措置であることから、基本的には尊重すべき」と回答し、秋季年末闘争への足掛かりを得た。また、ならし保育期間中の育児休業の承認に係る検討などについて前進回答を引き出した。

新しい価値観を、自分の生活の中で、また、教育という仕事の中で見つけて、それを子どもたちに伝えていく。それができたなら、世の中が音を立てて変わり始めるのでは」と話す稲垣さんから、たくさんの元気をもらったことができた。

大阪高校生平和大使派遣費用へのカンパ、10814円集まりました。ありがとうございました。今後もご協力をお願いします。

新しい価値観を、自分の生活の中で、また、教育という仕事の中で見つけて、それを子どもたちに伝えていく。それができたなら、世の中が音を立てて変わり始めるのでは」と話す稲垣さんから、たくさんの元気をもらったことができた。

大阪高校生平和大使派遣費用へのカンパ、10814円集まりました。ありがとうございました。今後もご協力をお願いします。

維持してまいりたい。この基本的立場に立って、給与・勤務条件に関わる諸問題については、誠意をもって府労連と十分協議を行ってまいりたい。②人事委員会勧告制度に係る基本認識「人事委員会勧告は公務員の労働基本権制約の代償措置であり、基本的には尊重すべきもの」と考える。③育児休業制度の改善「ならし保育期間中に育児休業が承認できるよう検討を行う」

④臨時主事の初任給「任用の状況等を踏まえつつ、研究しているところ」



最終団交に臨む府労連執行委員と闘争委員

リポート募集中

あなたの実践を待っています!!

*教研分科会の運営委員長は、8月下旬をめどにリポートの集約をしてください。リポートの締め切りは8月24日(金)、午後5時です。
*リポート報告には…
分科会名、リポートの題、リポーター、リポートの簡単な内容などを「リポート決定用紙」に記入してFAXで大阪教組へ送付してください。(FAX 06-6765-1268 教文部へ)
*リポートは、昨年度および今年度の単組・支部教研の報告を原則としますが、各単組の教文部長あるいは各分科会の運営委員長(推進委員→運営委員→運営委員長)を通した報告も可とします。

大阪教組教研・分科会 運営委員長一覽

分科会番号	分科会名	名前	単組名	分会名
1	日本語教育	福田 実加	東大阪	東大阪市教組
2	外国語教育	鏡田 康匡	高槻	松原小
3	社会科教育	福見 剛史	茨木	茨木市教組
4	算数・数学教育	中島 理隆	大阪市	磯路小
5	理科教育	孫 弘 樹	八尾	高美南小
6	美術教育	大西 潔	摂津	千里丘小
7	音楽教育	秦 麻由子	泉南地区	東山小(貝塚)
8	技術・家庭科教育	志禮 義隆	泉南地区	東小(貝塚)
9	保健・体育	井手口 一	枚方	中宮小
10	総合学習	荒木 寿樹	泉南地区	東小(貝塚)
11	自治的諸活動と生活指導	寺内 直美	南河内	道明寺小(藤井寺)
12	幼年期の教育	錦織 誠子	南河内	錦郡幼(富田林)
13	人権教育	星野 勇悟	大東	四条小
14	インクルーシブ教育	遠 藤 悠	泉南地区	西小(貝塚)
15	在日朝鮮人・多文化共生の教育	韓 文 亨	大阪市	中川小
16	男女共生教育	曾我部 玲子	大阪市	長吉東小
17	環境・公害と食教育	藤田美由紀	交野	藤が尾小
18	平和教育	磯部 竜也	守口	守口市教組
19	メディアリテラシーと文化活動	三谷 和義	大阪市	三稜中
20	高校改革と進路保障	荒井 瞬	豊中	第二中
21	民主的学校づくりと教育条件整備	正下 敏雄	寝屋川	和光小
22	カリキュラム編成と地域における教育改革	松木 優	茨木	東小

6月6日(水)、大阪教組教研第1回運営委員会を開催し、今年度の研究目標・研究課題(左記・下記参照)を決定しました。各分科会で、この研究目標・研究課題をふまえたリポートの発掘をすすめてください。〈問い合わせは、各単組または大阪教組へ〉

研究目標
研究課題

分科会番号	研究目標	研究課題
-------	------	------

11	自治的諸活動と生活指導	*子どもの自主性・創造性を伸ばす教育実践をすすめる。 *人権教育に根ざした自主的活動をつくりだそう。 *「いじめ」「荒れ」等を克服する教育実践をすすめる。 *すべての子どもを大切に、ともに生き、ともに育ち合う保育・教育をめざして、幼・保・こども園・小・中の連携をすすめる。 *一人ひとりを大切に保育・教育条件を整備をすすめる。
----	-------------	---

12	幼年期の教育	*部活差別の現実にせまき、反差別の視点に立った集団づくり等の実践の課題を明らかにする。 *校区にわたる被差別部落を有しない学校園での実践課題を明らかにする。 *各地における自主教材・地域教材の発掘、活用について実践を交流する。 *「日教組人権教育指針」を確かなものにするため、子どもたちの出会いと体験を大切に、人権総合学習の実践を交流する。 *授業改革を推進し、学力保障・進路保障の一層の充実をめざす実践の課題を明らかにする。 *保護者・市民の参画のもと、地域に根ざし子どもの実態に応じた創造的実践を交流する。
----	--------	--

13	人権教育	*「人権教育のための国連10年」の理念をふまえ、人権文化豊かな学校園づくりをすすめる。 *地域・校区とともに生きるインクルーシブな教育をどうつくるか。 *普通学級とともに学ぶ教育の創造をどうすすめるか。 *学校ぐるみのインクルーシブ教育をどうつくり出すか。 *地域とともに生きるための、視覚・聴覚・支援学校教育をどうつくりだすか。 *支援の必要な子どもたちの学習権を保障できる教育内容と学校づくり。 *高校への進路保障の拡大をどう実現させるか。 *働く場・生きる場をどう保障するか。 *医療的ケアの現状と課題について。
----	------	---

14	インクルーシブ教育	*外国にルーツを持つ子どものアイデンティティを大切にした学級・学年・学校のとりくみの交流をすすめる。 *小・中の民族学級(民族のつどい)、朝文研のとりくみを交流し、高校の朝文研のとりくみにつなげる。 *本名を呼び名とする実践をすすめる。 *多文化・多民族共生の視点に立った「総合学習の時間」・「外国語の学習」のあり方について研究をすすめる。 *「日本語指導」の実践交流をすすめる、母語保持・伸長のとりくみをすすめる。 *在日外国人の子どもの進路保障のとりくみをすすめる。 *民族学校見学の交流をすすめる。 *「外国にルーツを持つ教職員ネットワーク(ルーツネット)」をより充実させ、課題克服のためのとりくみをすすめる。
----	-----------	---

15	在日朝鮮人・多文化共生の教育	*正しい朝鮮観・国際認識を育てる実践にとりくむ。 *民族学級や民族の集いにとりくむ。 *民族学校との交流をすすめる。 *反差別・人権・国際連帯の実践にとりくむ。 *一人ひとりが自分の個性や能力を生かして生きていくジェンダー・平等の教育をすすめる。 *人権教育に根ざした両性の自立・共生・連帯をめざす教育を創造する。 *女性をとりまく情勢についての認識を深める。
----	----------------	--

16	男女共生教育	*「おもしろさ」「つらさ」を共有できる集団づくりの創造。 *子どもたちが輝く自主活動・自治活動の推進。 *自分たちで考え、行動していく自主的活動の創造。 *「学級崩壊」等の生徒指導にかかわるとりくみ。 *子どもたちの貧困、いじめ・不登校対応などにかかわるとりくみ。 *ちがいを認めあい、ともに育ち合う保育・教育をすすめる。 *幼・保・こども園・小・中の連携から教育活動を考える。 *2年・3年保育の拡充をめざす。 *地域に開かれた保育・教育活動を推進する。 *部活差別の現実にせまき、反差別の視点に立った集団づくり等の実践の課題を明らかにする。 *校区にわたる被差別部落を有しない学校園での実践課題を明らかにする。 *各地における自主教材・地域教材の発掘、活用について実践を交流する。 *「日教組人権教育指針」を確かなものにするため、子どもたちの出会いと体験を大切に、人権総合学習の実践を交流する。 *授業改革を推進し、学力保障・進路保障の一層の充実をめざす実践の課題を明らかにする。 *保護者・市民の参画のもと、地域に根ざし子どもの実態に応じた創造的実践を交流する。
----	--------	--

すべては子どもたちのために

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総合学習	保健・体育	技術・家庭 科教育	音楽教育	美術教育	理科教育	算数・数学 教育	社会科教育	外国語教育	日本語教育
* 総合学習における「学び」のあり方とその具体化を追求しよう。	* 子どもの生活現実に根ざした主体的表現活動をめざす。 * 子どもが描いたり、つくったりする中で自分を解放し、感情をコントロールしながら、自我を高めることのできる美術教育をめざす。	* 「平和・人権・環境・共生」の創造。 * 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。	* 「共生」の視点をふまえた教育の創造。 * 一人ひとりが楽しく生き生きととりくむ授業づくり。

「出会い・学び・つながり」
の教育実践を届けよう

「出会い・学び・つながり」
を教研で創造しよう

大阪教組 教研 分科会

大阪市立 美津島中学校

阪急神戸線・神崎川駅 西へ1.2km

JR東西線・加島駅 東へ1km

大阪シティバス97系統「加島東」バス停

10月13日(土)

教科別分科会 9:30~12:00

課題別分科会 13:30~16:00

分科会終了後、青年部交流会

※ 22	21	20	19	18	17
カリキュラム 編成と地 域における 教育改革	民主的 学校 づくりと 教育条 件 整備	高校 改革と 進路保 障	メディア リテラシー と文化活 動	平和 教育	環境・公 害 と食 教育
* 目の前の子どもたちの実態に即し、子どもの考えをくみ取ったカリキュラム編成を交流する。 * 地域改革を推進し、教育課題の解決に向け、地域(校区、PTA)との連携等とよりくみを交流する。	* 民主的学校のづくりと教育条件整備に向けた各単組のとりくみを交流する。	* すべての子どもの進路を保障する。とよりくみと教育実践を創造する。 * 地域に根ざした高校改革をすすめる。	* 情報化社会における問題を把握し、人権に視点をおいたメディアリテラシー・情報教育(ICT教育)を充実させる。 * 学校図書館教育をいかに充実するか。また、情報教育との連携も含め、いかに充実させるか。 * 個人情報保護の観点に立った教育活動をどう確立するか。	* 史実にもとづく歴史認識を共有し、反戦・反核・平和の教育をすすめる。 * 平和の尊厳を教え、反戦の意思を育むため、また、主権者教育をすすめるため憲法を教えるとりくみをすすめる。	* 環境・公害を総合学習の中で位置づけよう。 * 自然と共存し、命を守る食教育を確立しよう。

ますます力強く 積極的な運動を!

事務職員部定期大会

大阪教組事務職員部は6月8日、第50回定期大会を開催した。冒頭、岩岸事務職員部長が「昨年4月の法改正を受けての動きは、大阪における事務職員の実践に時代が迫ってきている。具体的な制度改善につながるよう、今後も積極的な運動を展開していく」と述べた。その後、常任委員会からの運動方針の提案を受け、各組から質問および活発な討論が行われた。



あいさつする岩岸事務職員部長

討論では、各組における共同実施を中心とした学校事務組織化の動きや、組織拡大の取り組みや今後の構想などについて報告があった。参加代議員からは、執務環境改善や長時間労働、育児との両立の困難さを訴える切実な声もあり、事務職員の働き方に対する議論と、とりくみの重要性を再認識することとなった。

採決の結果、

方針をはじめ、すべての案件は、全会一致で可決された。今後、事務職員部では、各組との連携を強化し、組織拡大強化と事務職員課題の解決に向け、とりくみを一層強めていく。

連合大阪男女共生集会

ケアレスではなく ケアフルの職場づくりを

連合大阪は6月29日、男女共生集会をエルおおさかで開催した。

石田精三連合大阪副会長のあいさつに続き、男女雇用平等法「川柳」入賞作品の表彰式を行った。

講演では杉浦浩美さん(埼玉学園大学大学院准教授)が「職場におけるハラ・セクハラと男女平等」というテーマで語った。

講演の概要
セクシュアル・ハラスメントを禁止する法律はなく、現在あるのは事業主がセクシュアル・ハラスメントのない環境を作る努力義務が



アピール行動として「私はセクハラを許しません!」のプラカード(右)を掲げた

どうなる・どうする これからの教育 ④

外国語にふれる楽しさを伝える外国語科に

今年度より移行措置として小学校5、6年生で外国語科が実施されるので、NHKのEテレの番組をチェックした。

5、6年生向けの番組は、英語で話す子ども、バイリンガルの子どもの3人が、英語を使ってミッションをクリアしていくというもの。最初の頃の放送では、解説めいたものは、ほぼ日本語で話す子どもが英語の意味を日本語でつぶやく程度。英語でのやりとりを何度か聞くことで、なんとなく英語の意味や使い方に気づくというパターンだ。授業でも同じようなことを望んでいるとすれば、英語を知らない子どもたちにとっては、面白みに欠けるのではないかと感じた。さすがに、それはまずいと感じたのか最近の放送では、言葉の意味をバイリンガルの子どもの解説し、字幕でも補足するように変わっていた。

「慣れ親しむ」として導入された外国語活動は、結局、教科となり、さまざまな外国語にふれる機会は減った。しかし、英語を教え込むのではなく、外国語にふれる楽しさを伝える外国語科でありたい。

地域に根ざす「幼稚園」 の役割を確認

幼児教育部定期大会

大阪教組幼児教育部は6月2日、第29回定期大会を開催した。

15年度からはじまった子ども・子育て支援新制度により、公立幼稚園のあり方が大きく変わってきている。認定こども園への移行に

関わって保護者への説明、開園業務と並行しての開園準備や新たなカリキュラム編成など、教職員の多忙化

第29回幼児教育部定期大会



幼稚園やこども園の課題について語り合った

「地域に根ざし、親も子どもともに育つ」ことを長年大切にしてきた。子どもの人権を大切にしながら実践を示し、

護といったケアを担わない人が、会社に勤めるというのが前提の職場。家族的側面という意味でのケアと、自分自身の身体をいたわるという意味でのケアも欠けている。ケアワークは、男女ともイープンに分け合えるが、出産はイープンにはできない。また、男女平等という考え方は大切にした

い、いっぽうで性的マイノリティの問題を意識しなければならぬ。ケアレスではなく、ケアフルな職場に変えていく必要がある。いろいろな事情を抱えたままであっても働ける職場、女性の身体を持つていても、妊娠しても当たり前前に安心して働ける、そんな職場をつくっていくためには、「一人前の働き方」とは、何なのか考え直さないとけない。

今や過労死ラインを越えて働き続けている人たちが一定数以上いる。そんな中、「働きたいから、子どもはあきらめる」というのが現代の大学生のリアルな意見

みずおか俊一さん

府退職教宿泊幹事会で講演

6月11日、18年度大阪府退職教職員連絡協議会(府退職教)宿泊幹事会(於/アイ・アイ・ラン)で、水岡俊一さん(参議院選挙区政連予定候補・立憲民主党)が、講演しました。水岡さん



組合員100人 増やそう運動展開中!



自分たちの未来を 他人まかせにしない だから組合

スーパーで購入したかぼちゃがおいしかったので、種をとって植えてみると、発芽し、つるを伸ばしはじめた。つるが伸びる方向は、朝から日あたりが良いところをめざしているようだ。そういえば道徳教材に「かぼちゃのつる」を扱ったものがあつたなあ。観察継続。(山)